



日立システムズ「希望の響き」シリーズ -東日本大震災復興祈念チャリティーコンサート-

## ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル 日本ツアー 2015 仙台公演開催迫る!

### 日立システムズ「希望の響き」シリーズは、文化面からの復興支援



日立システムズは、東日本大震災発生直後からITサービスを通じた復旧・復興支援やボランティア活動などを通じた生活・環境面での支援に取り組んできた。2013年7月には仙台市が自立的な財源確保施策の一環として実施したネーミングライツを取得し、仙台市青年文化センターの愛称を「日立システムズホール仙台」とした。そして、同ホールを活用したコンサートやイベントを「希望の響き」シリーズとして展開し、文化面からの復興支援に取り組んでいる。

2015年の「希望の響き」シリーズのテーマは「未来を担う若い人材の育成への貢献」。今年も世界中の若き演奏家を育て紹介するNYSEを招き、特に若い世代に知って欲しい楽曲を選曲したプログラムで元氣あふれる「希望の響き」を届ける。

海の日の7月20日(月・祝)へ今年も日立システムズホール仙台のコンサートホールで、りりしく透明感のある「希望の響き」に出会うことができる。

株式会社日立システムズは、昨年に引き続き、ニューヨークシンフォニック・アンサンブル(以下NYSE)を招いて、「希望の響き」シリーズ東日本大震災復興祈念チャリティーコンサートを開催する。ラストナンバーでは地元、宮城県宮城第一高等学校(以下宮城一高)管弦楽部とのコラボレーションも企画されている。2回目の共演とあって、今年はどういう響きを奏でるのか、昨年も増して期待はふくらむ。

### 宮城一高との共演に向け、ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブルがやってきた!

今回の来仙中に、高原さんとメンバーは、東日本大震災からの復興が進む名取市閑上(かみかみ)に足を運び、閑上震災を考える会の語り部・太田千秋さんの話を聞いた。

「実際に被災地に立つて、ニュースでは伝わらない被害の大きさを実感した。」(ルイスさん)、「地

#### 高原さんとメンバーが被災地・閑上を訪問

元の人たちの復興させようというパワーに感動した(アレクサンドリーナさん)。

メンバーそれぞれが、現地では感じられない思いを胸に刻んだようだ。

今年度の共演曲は、ヴェルディの歌劇「アイダ」より凱旋行進曲。部員を前に、メンバーが曲の背景や演奏のポイントを説明。パートごとのアドバイスにも部員たちは熱心に耳を傾けていた。

部長の築瀬文香さんは「今日のアドバイスを胸にコンサートまでに技術を磨いて、当日は演奏を心から楽しみたいと思います」と決意を新たにしていた。

#### 1年生の授業にNYSEメンバーが登場

管弦楽部だけでなく、1年生の二つのクラスの音楽の授業にサプライズゲストとして参加した。事前に知らされていなかった生徒からは驚きの歓声があがった。

教壇上がった高原さんは、生徒たちが練習していた校歌を、ルイスさんとともにロックやジャズ風にアレンジして生徒と一緒に共演したほか、ボディーパーカッションでの「作曲」にも挑戦した。生徒たちはだんだんと高原さんの創り出すリズムの世界に引き込まれた。その後、ルイスさんとアレクサンドリーナさんが、出身地の話や音楽を始めたきっかけ、自分の担当する楽器の特徴や演奏への思いなどを

管弦楽部だけでなく、1年生の二つのクラスの音楽の授業にサプライズゲストとして参加した。事前に知らされていなかった生徒からは驚きの歓声があがった。

教壇上がった高原さんは、生徒たちが練習していた校歌を、ルイスさんとともにロックやジャズ風にアレンジして生徒と一緒に共演したほか、ボディーパーカッションでの「作曲」にも挑戦した。生徒たちはだんだんと高原さんの創り出すリズムの世界に引き込まれた。その後、ルイスさんとアレクサンドリーナさんが、出身地の話や音楽を始めたきっかけ、自分の担当する楽器の特徴や演奏への思いなどを

紹介し、生徒たちとの交流を楽しんだ。1年生の渡邊杏(わたなべ あん)さんに授業の感想を聞くと、「突然の登場にびっくりしました。音楽は得意ではなかったけれど、一緒に演奏してみても音楽の奥深さに気がわかりました」とうれしそうに話していた。



管弦楽部とコラボレーション

新学期が始まって間もない4月27日(月)、NYSE指揮者の高原守さんとバイオリニストのアレクサンドリーナ・ボヤノバさん、伊藤舞希子さん、パーカッションのルイス・ハコメさんが宮城一高を訪問した。

宮城県内の公立高校で管弦楽部があるのは唯一、宮城一高のみ。昨年7月に初めてNYSEとの共演を果たしているが、どんな変化があったのだろうか。「昨年のコンサートは大きな刺激になりました。プロの音色、取り組む姿勢を間近にみて一音一音丁寧に演奏するようになりました」と話すのは顧問の天野綾子先生。

今年度の共演曲は、ヴェルディの歌劇「アイダ」より凱旋行進曲。部員を前に、メンバーが曲の背景や演奏のポイントを説明。パートごとのアドバイスにも部員たちは熱心に耳を傾けていた。

部長の築瀬文香さんは「今日のアドバイスを胸にコンサートまでに技術を磨いて、当日は演奏を心から楽しみたいと思います」と決意を新たにしていた。



訪問したNYSEメンバー(左から伊藤さん、アレクサンドリーナさん、高原さん、ルイスさん)

日立システムズ「希望の響き」シリーズ -東日本大震災復興祈念チャリティーコンサート-

## ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル 日本ツアー 2015 仙台公演

New York Sinfonic Ensemble JAPAN Tour 2015

2015年 7/20(月・祝)

音楽監督・指揮/高原 守  
ヴァイオリン/ゲオルギイ・ヴァルトチェフ  
特別共演/宮城第一高等学校管弦楽部

開場 15:30 開演 16:00 全席指定 S席 4,000円 A席 3,000円

本公演にご来場のみなさま専用の休憩ラウンジを15:00より2階交流ホールに設けています。ぜひお立ち寄りください。

- 会場/日立システムズホール仙台 コンサートホール
- お問い合わせ/TEL.022-302-3344 仙台・社の響きコンサート(平日10:00~18:00) <http://www.morinohibiki.com/>
- 主催/河北新報社・株式会社日立システムズ
- 共催/日立システムズホール仙台 (公益財団法人仙台市市民文化事業団)
- 後援/アメリカ大使館・仙台市・TBC東北放送
- 企画・招聘・制作/株式会社ビザビジョン
- 協力/仙台・社の響きコンサート